

第 59 回 探花会

- 日 程 平成 27 年 3 月 1 日 (日)
- 行 程 お茶ノ水駅・聖橋・湯島聖堂・神田明神・湯島天満宮
- ・妻恋神社・お茶の水おりがみ会館〔遠景〕
 - ・日本サッカーミュージアム・近江兄弟社 (東京)〔外観〕
 - ・ヴォーリズ建築事務所 (東京)〔外観〕・明治大学博物館
 - ・明治大学阿久悠記念館・ニコライ堂

今回は、御茶の水・湯島近辺を探ってみました。

前日までの予報では終日雨となっていました。早朝、外に出てみるとパラパラしているが意外と明るく、実行することに決めました。

現地では曇っているものの雨のパラつきはなく、案じていた当日のキャンセル者もなく全員集合でしたが、ただ、気温はかなり低く寒いなかでの散策となりました。

御茶ノ水駅

今年開設 111 年となる。明治 37 年 (1904 年) 年 12 月 31 日に開業した。

現在の御茶ノ水橋口、聖橋口駅舎は 2 代目。

昭和 7 年 (1932 年) に総武線の直通運転に伴い、移転・新築された。

駅の神田川沿いにバリアフリーとして、テラスを施工中で、景観が変わってきた。

聖 橋

聖橋は、東京市が関東大震災の復興橋梁として、施工費 72 万 4807 円で 2 年 8 ヶ月をかけて昭和 2 年 (1927 年) 7 月に完成した。神田川の美しい景観を損なわぬよう配慮して完工させた。

聖橋の名は、橋の北側に位置する湯島聖堂と南側に位置する東京復活大聖堂の両聖堂に因んでいる。

近代教育発祥の地 (湯島聖堂・東京医科歯科大学)

この辺りには、明治 5 年師範学校 (翌年、東京師範学校と改称)、その後、隣接地に東京女子師範学校が置かれた。東京師範学校は明治 36 年大塚窪町に移転、後に東京教育大学 (現筑波大学) に、東京女子高等師範学校は昭和 7 年に移転、後に新制大学としての発足の時に、この地名を校名に冠せ、お茶の水女子大学と称し、現在に至る。

湯島聖堂

湯島聖堂は、もと上野忍ヶ岡にあった幕府儒臣の林羅山の邸内に設けられた孔子廟を元禄 3 年 (1690 年) に五代将軍徳川綱吉がここに移し、先聖殿を大成殿と改称して、孔子廟の規模を拡大し、官学の府としたのが始まり。大成殿と付属の建造物を総称して「聖堂」と呼ぶようになった。

現在の聖堂は、大正12年（1923年）9月1日の関東大震災で罹災し、入徳門と水屋を残して焼失したが、昭和10年（1935年）に再建されたもの。

正殿の大成殿をはじめ、各門、孔子銅像、その他がある。

大成殿は、孔子廟の正殿の名称で、高さ14.6m 間口20m 奥行14.2m。

正面中央に孔子（前552年～前479年）、両側に孟子、顔子、曾子、子思が祀られている。

昌平坂学問所 寛政9年（1797年）に昌平坂学問所を開設し、直参、旗本の子弟の教育を目的とし寄宿寮を設け48名を収容したが、後に別に書生寮を設けて藩士、郷士・浪人等の入学を許可し、公的施設となった。高杉晋作等の名も見られる。

カイノキ（楷樹） 和名 トネリバハゼノキ Pistacia Chinensis Regal

ウルシ科の落葉高木。敷地内に植わっている。

カイノキの枝や葉が整然としているので、楷書の語源になったと伝えられている。

日本でも孔子廟にはよく植えられていて、ウルシやハゼノキのように紅葉が美しい。

日本には、大正4年に白澤保美林学博士が曲阜から種子を持ち帰り、目黒の林業試験場で苗に仕立てたのが始まりである。

神田明神



江戸総鎮守の神田明神の正式名称は神田神社。東京都心108町会総氏神。

天平2年（730年）創建。当初は千代田区大手町の将門塚近辺に鎮座していたが、徳川家康が江戸に幕府を開き、江戸城が拡張された時、江戸城から表鬼門にあたる現在地に遷座した。

境内には、江戸国学発祥の地碑、銭形平次の碑等がある。

今年平成27年には、遷座400年記念の神田祭が大々的に行われる。

因みに、神田明神の特設境内で薪能「明神能幽玄の花」がこの5月14日に行われ、素謡（すうたい）、狂言、仕舞と共に、能「竹生島」が舞われる。

妻恋神社

日本武尊が東征のため三浦半島から房総へ渡る際、大暴風雨に遭い、妃の弟橘媛命（おとたちばなひめ）が身を海に投げて海神を鎮め、尊の一行を救った。帰路、尊が湯島に滞在したので、郷民は尊が妃を慕われる心を哀れんで尊と妃を祭ったのがこの神社の起源といわれる。



湯島天満宮

正式名称は、湯島神社。湯島天満宮、湯島天神の名で有名。

文和4年（1355年）湯島郷民の勧請に始まり、その後、文明10年（1478年）太田道灌が修建し



たといわれる。

学問の神様として知られる、菅原道真を祀る関東三天神の一つ。境内は古くから湯島の白梅として名高いウメの名所。泉鏡花の婦系図の舞台としても有名である。

瓦斯灯（ガスとう） 境内に5基あったが、最後まで形の残っていた1基も昭和40年

頃に撤去された。ガス街灯は、明治5年（1872年）開港地横浜で点灯されたのが最初で、東京には同7年（1874年）に金杉橋から京橋間に85基が設置され、その後撤去された。

今ここにあるものは、東京ガス株により点灯されることになったが、都内屋外では唯一のものである。 (引用) 昭和56年11月2日 文京区観光協会

イチヨウ 百数十年前に植栽され、皆から親しまれてきて、樹高30m、重量約40tとなったイチヨウの大木が、中心部に腐食が確認され、専門家から鳥居倒壊の危険性があるとのことで、熟慮の結果、止むを得ない処置として伐採された。

湯島天神のウメは満開で、芳香が漂っていましたが、今回のテーマが「ウメ」ということで、シダレウメをバックに集合写真を撮りましたが、この頃から雨が少々降り出しました。

しかし、この後の外部での見学はニコライ堂のみで、後は室内にて見学する箇所が多くひとまず安心というところでした。

お茶の水おりがみ会館（日曜日休館）

おりがみ会館

(株)ゆしまの小林 創業 安政5年（1859年） おりがみ発祥の地

初代（明治18年）文部大臣の森有礼が、教育制度の一大改革にドイツの教育学者フリードリッヒ・フレーベルの理念「恩物」の一つである折り紙を日本の幼児教育に取り入れた。

この時、命を受けて正方形の折り紙を製造したのが当時の小林染紙店、後のお茶の水おりがみ会館/ゆしまの小林 である。

切通坂

歌「湯島の白梅」(後出)3番に「出れば 本郷切通し」とあるが、その切通坂に、石川啄木の案内板がある。

二晩おきに

夜の一時頃に切通の坂を上りしも

勤めなればかな

石川啄木

昭和55.3

文京区

日本サッカーミュージアム



日本サッカーミュージアムは、平成16年（2003年）に日本サッカーの歴史と遺産を次代の人々に継承し、サッカー文化を醸成する目的により設立された。

八咫烏（やたがらす） 神武天皇東征のとき、熊野から大和に入る険路の先導となった烏で神魂命（かむむすびのみこと）の孫で鴨建角身命（かもたけつぬみのみこと）の化身と伝えられる。三本足のカラスは熊野三山のシンボルで、日本サッカー協会のトレードマークとしても有名である。

因みに、滋賀県出身のサムライブルーFW 乾 貴士（フランクフルト）1988年6月2日生れ 169cm 63kg 血液型 A型 アリノス → セレッソ → ボークム
ドイツ1部リーグのフランクフルトに移籍し、大活躍している。

外は雨でしたが、このミュージアムの計らいで、持参の弁当等を摂ることが出来ました。感謝いたします。

近江兄弟社ビル

ビルの1階入口脇にパネルが展示されていて、道行く人の目を引く。

近江兄弟社（東京）

このビルに系列のヴォーリス建築事務所（東京）もある。

明治大学博物館

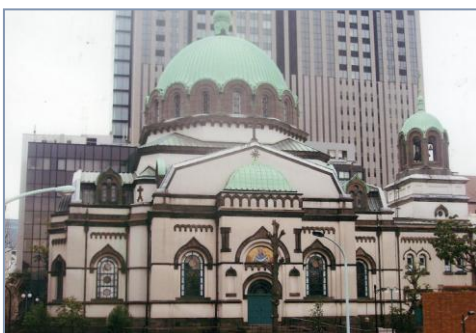
商品部門・刑事部門・考古部門の三つの部門があり、夫々の博物館が前身で、

- ① 商品部門は、伝統的手工業製品の収集・展示
- ② 刑事部門は、江戸の捕者具、日本や諸外国の拷問・処刑具等の刑事関係資料の展示
- ③ 考古部門は、60年以上にわたる調査研究の資料を展示している。

明治大学阿久悠記念館

日本を代表する作詞家で作家の阿久 悠〔昭和12年（1937年）～平成19年（2007年）〕は、歌謡曲の作詞で5000曲以上に及んだ。歌謡曲からアニメソング、CM曲まで幅広く世に送り出した。一方で、小説・エッセイ・詩歌を多数発表した。関係資料1万点が寄贈されたことを受けて記念館としてオープンした。

ニコライ堂



修道司祭だったニコライは、1861年6月に函館のロシア領事館付属聖堂の司祭として来日した。

東京復活大聖堂（通称ニコライ堂）は、大主教ニコライにより明治17年（1884年）3月に起工し7年の工期で24年（1891年）2月に完成した。しかし、大正12年（1

923年)の関東大震災で鐘楼が倒壊、ドームがそれにより崩壊した。建築士岡田信一郎の指揮により6年をかけて聖堂を復活させ現在に至っている。

日本では有数のビザンチン様式の建築であり、国の重要文化財として1962年に指定された。ニコライ博士は1912年冬75歳で永眠し、谷中墓地に埋葬された

湯島の白梅 佐伯孝夫作詞 清水保雄作曲 昭和17年

唄 小畑 実・藤原亮子

泉鏡花原作「婦系図」の主題歌 湯島天神が舞台

ニコライ堂を見終えて御茶ノ水駅脇の食堂前にて散会とし、一部の方は食堂にて
コーヒー等で寛いだ後、帰路につきました。

今回は後半雨天となりましたが、大降りにならずまああの例会でした。

(探花会幹事 新納 桂)

次回第60回探花会は、4月19日(日)千葉県我孫子市方面にて、チューリップを
テーマにあげばの山農業公園、我孫子市鳥の博物館等を見学する予定です。

どなたでも参加できます。事前にご連絡ください。

090-1042-8418 新納まで